



卒業制作、個性光る

秋田美大付
高等学院 生徒自ら作品解説

秋田市新屋の秋田公立美術大学付属高等学院(76人、尾澤勇校長)の卒業制作発表会が27日、同校体育館で開かれた。3年生21人が作品のコンセプトや制作過程などを紹介。生徒や保護者、教員ら計

約140人が耳を傾けた。3年生は木材工芸、金属工芸、インテリアデザイン、ビジュアルデザインの4コースに所属し、4月から卒業制作に取り組んだ。発表会では作品への思いや工夫した点などを写真を用いて紹介。会場にはポスターや建築模型、オブジェなど計28点が並び、生徒の個性が光る作品を保護者らが鑑賞した。

3年生が作品のテーマや制作過程などを紹介した卒業制作発表会①、会場には3年生全員の作品が展示され、保護者らが鑑賞を楽しんだ

「作業した」と話した。発表会は、3年生のプレゼンテーション能力や1、2年生の学習意欲の向上を目的に毎年開かれている。卒業制作は、来年2月4日から8日まで、秋田市中通の県立美術館で開かれる作品展「明日のクリエイターたち」で一般公開される。
(遠山龍生)